

探究・校務改革  
支援補助金  
2025

令和6年度補正予算  
地域未来人材育成支援民間サービス等利活用促進事業費補助金



探究的な学びの高度化/教職員の校務負担軽減を目指して

# 効果報告レポート

【事業者名】

株式会社 ポプラ社

【サービス名称】

Yomokka!

【サービスの支援項目】

カテゴリ2-1 教職員の業務効率化・省力化 メインサービス

2026年1月

こどものための読み放題型電子図書館

よもっか!  
Yomokka!

# ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

## 1. サービスの概要、特徴

Yomokka!(よもっか!)は“いつでも、どこでも、好きなだけ!”をコンセプトに、こどもたちの読書環境を支え、新たな読書体験を提供することを目指した小・中学校向けの**読み放題型電子図書館**です。サブスクリプションの特長を活かし、学校図書館の蔵書を補完する新しい読書の選択肢となります。

### (1) 導入によるメリット、類似サービスとの違い等

#### ■ 導入によるメリット

- ・児童生徒が各自の端末で同じ本を同時に読むことができるので、教科の授業や並行読書、調べ学習はもちろんのこと、**探究的な学びにおいて「課題の設定」や「情報の収集」の場面でも活用**できる。
- ・児童生徒が、朝の読書の時間や隙間時間に読みたい本を貸出中ということなく常時読めるため、**読書習慣の定着や読書時間の増加に寄与**する。
- ・これまで児童生徒の読書状況は学校図書館の貸出履歴で把握していたが、本サービスを導入することで管理画面上で簡易に**読書状況(冊数、ページ数、時間、クラスで人気の本等)を把握**することができるようになる。
- ・**読書推進や不読率の低減に寄与**する。

#### ■ 類似サービスとの違い

- ・1作品を同時に借りられる人数や貸出期間、1人が一度に借りられる冊数に上限がある一般的な電子図書館とは異なり、**45社5,500冊以上(2026年1月現在)の本を1人1台端末で常時閲覧**できる。
- ・大人の利用を想定した電子図書館とは異なり、こどもにとっての使いやすさを重視した**「こどもファースト」のインターフェース**である。
- ・定期的に更新される特集コーナーや、思いがけない本と出会えるガチャ機能など、**読書への入口・接点を意識した機能**を持つ。

### (2) 学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

#### ■ 業務効率化

- ・授業をする際の**教職員の図書資料の準備作業の負担を軽減し、業務省力化に寄与**する。例えば、学校図書館で本を借りて人数分コピーして配布するなどの作業が不要になる。
- ・授業中に学習の進捗により隙間時間ができた際にも、自席ですぐに読書ができるので**課題等が終了した児童生徒が自席でYomokka!を読んで隙間時間を過ごすことで、教職員は個別指導が必要な児童生徒に向き合う時間に注力**することができる。

#### ■ 利便性

- ・読みたい本が借りられている、学級文庫に読みたい本がない、そもそも物理的に図書館や書店に行くことが難しい児童生徒が、**朝の読書、休み時間、隙間時間、授業中、端末を持ち帰っての家庭学習時に活用**できる。
- ・文部科学省が学級数に応じて定めた、学校図書館に整備すべき蔵書の標準である「学校図書館図書標準」に満たない学校等では、**足りない蔵書を当サービスの掲載書誌で補う**ことができる。

# ■ 探究・校務改革支援サービスの概要

## 1. サービスの概要、特徴

### (3) サービスの活用場面

- ・朝の読書の時間
- ・国語や社会など教科の授業や、総合的な学習の時間・探究的な学習の時間など
- ・授業準備
- ・自習時間やテストが終わった時などのすき間時間
- ・家庭での宿題や読書の時間(端末を持ち帰って)

### (4) 1サービスあたりの標準販売価格

IIDの利用料金:月額350円(税別)

※ご利用には1人1台端末が必要になります

※ご利用にはインターネット環境が必要になります

※通信費は学校等教育機関の負担となります

※初期設定等は学校等設置者、学校等教育機関で実施いただきます

※2.サポート内容は無償で提供しております

※利用料金をお支払いいただく際は別途振込手数料をご負担いただきます

## 2. サポート内容(サービスの利用に際しての自社のサポート体制等)

- ・児童生徒向け、教職員向けの使い方動画の提供
- ・授業での利活用を促すため「授業で役立つ書誌リスト」などの活用ツールを提供
- ・利用中の学校等設置者や学校等教育機関からの問合せに対応(電話、メール)
- ・ご要望に応じて「教員・教育委員会向け研修会」を実施(オンライン、対面)

### 提供サポートの一例



▲児童生徒向け使い方動画



▲教職員向け使い方動画



▲掲載書誌に関する情報や活用促進ツール

実証導入を行った学校等教育機関の教職員を対象に学校が抱えている図書と1人1台端末に関わる課題をアンケート調査を実施。356件の有効回答から学校が抱える4つの課題を取り上げた。

### 児童生徒・教職員が抱える課題

Q: 1人1台端末の活用や図書に関するお困りごとを教えてください。  
(複数選択可)



アンケート調査から、概ねどの項目も課題としてあげられるが、今回は下記の4点を課題として取り上げる。

- ① 授業で利用する資料(図書など)を探すのに先生の手間がかかる
- ② 学校図書館や学級文庫などの蔵書が少ない
- ③ 授業準備で資料(図書など)のコピーに時間がかかる
- ④ 1人1台端末を活用しきれていない

※アンケート調査は2025年7月~8月に実証導入学校の教職員を対象に実施(有効回答数:356件)

### サービスが果たす役割

- ① 教職員も自らの端末を使い、書籍を検索することができるので、学校図書館へ行き書籍を探したりする手間を省くことができる。加えて、学年や教科で絞り込んで書籍の検索をすることが可能になっている。また、授業で活用できる書籍の情報を運営側から提供をしている。
- ② 約5,500冊の書籍が端末の中で自由に閲覧できる状況になることで、学校図書館や学級文庫の蔵書が少ないという課題に対しての解決策となる。
- ③ 同じ本を同時に何人でも読めるので、教職員の授業準備(図書館で本を借りて人数分コピーして配布するなど)の負担を軽減し、業務省力化に寄与する。
- ④ Yomokka!を利用することで、1人1台端末を利用する時間が増える。

## サービスの活用風景・授業の流れ

### 田原本町立南小学校

学校が抱える課題	学校図書館や学級文庫などの蔵書が少ない
解決策	Yomokka!を利用することで、関連書籍を児童全員に行きわたらせることができる
実施した授業の内容 活用場面	<p>■ 6年生 理科 単元「ヒトのからだのつくり」 授業の中でYomokka!に掲載されている関連書籍を使い、人のからだについての調べ学習を実施</p> <p>■ 4年生 国語 単元「ごんぎつね」 著者新美南吉の他の作品『あかいろうそく』や『おじいさんのランプ』を使い平行読書を実施</p>
先生方からのコメント	Yomokka!は全員が同時に同じ本を読むことができるので、調べ学習がスムーズに進めることができた。またいろいろなジャンルの本があり、子どもたちが読みたい本を読むことができる

### 新美南吉の書籍が多く読まれたことが利用履歴からも読み取れる

出版社	タイトル	読書数
金の星社	あかいろうそく	67
ポプラ社	おじいさんのランプ	53
金の星社	がちょうのたんじょうび	53
世界文化社	新新美吉童話集 ごんぎつね・手ぶくろを買いになど	43
Gakken	手ぶくろを買いに	33

※2025年11月のYomokka!利用ログより



**同じ本を同時にクラス全員で読むことができるので調べ学習がスムーズに!**

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	11	学校等教育機関数	33校
--------	----	----------	-----

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	由仁町教育委員会	由仁町立由仁小学校	北海道	小学校	1～6年生	朝の業務、授業、授業準備
2	前橋市教育委員会	前橋市立東小学校	群馬県	小学校	1～6年生	朝の業務、授業、授業準備
3	甘楽町教育委員会	甘楽町立新屋小学校	群馬県	小学校	1～6年生	朝の業務、授業、授業準備
4	吉見町教育委員会	吉見町立東第一小学校 他6校	埼玉県	小学校、中学校	1～6年生 1～3年生	朝の業務、授業、授業準備
5	筑波大学附属視覚特別支援学校	筑波大学附属視覚特別支援学校	東京都	特別支援学校 (小・中)	1～6年生 1～3年生	朝の業務、授業、授業準備
6	東村山市教育委員会	東村山市立富士見小学校	東京都	小学校	1～6年生	朝の業務、授業、授業準備
7	目黒区教育委員会	目黒区立小学校 12校	東京都	小学校	1～6年生	朝の業務、授業、授業準備
8	国立大学法人山梨大学	山梨大学教育学部附属中学校	山梨県	中学校	1～3年生	朝の業務、授業、授業準備
9	桑名市教育委員会	桑名市立伊曾島小学校悠分校 他1校	三重県	小学校、中学校	1～6年生 1～3年生	朝の業務、授業、授業準備
10	三宅町教育委員会	三宅町立三宅小学校	奈良県	小学校	1～6年生	朝の業務、授業、授業準備
11	田原本町教育委員会	田原本町立田原本小学校 他4校	奈良県	小学校	4～6年生	朝の業務、授業、授業準備

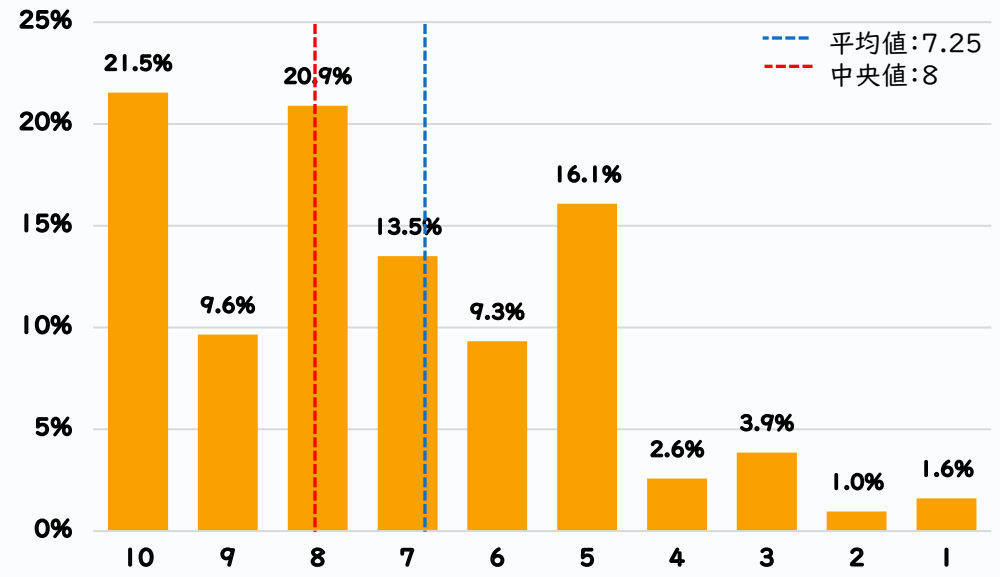
# 【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## 定量的効果検証

Yomokka!を導入した結果、導入前にあげられていた4つの課題が解消されたかについてアンケート調査を実施した。(2025年11月実証導入校の教職員を対象に実施。有効回答数311件)

### 課題① 授業で利用する資料を探すのに手間がかかる

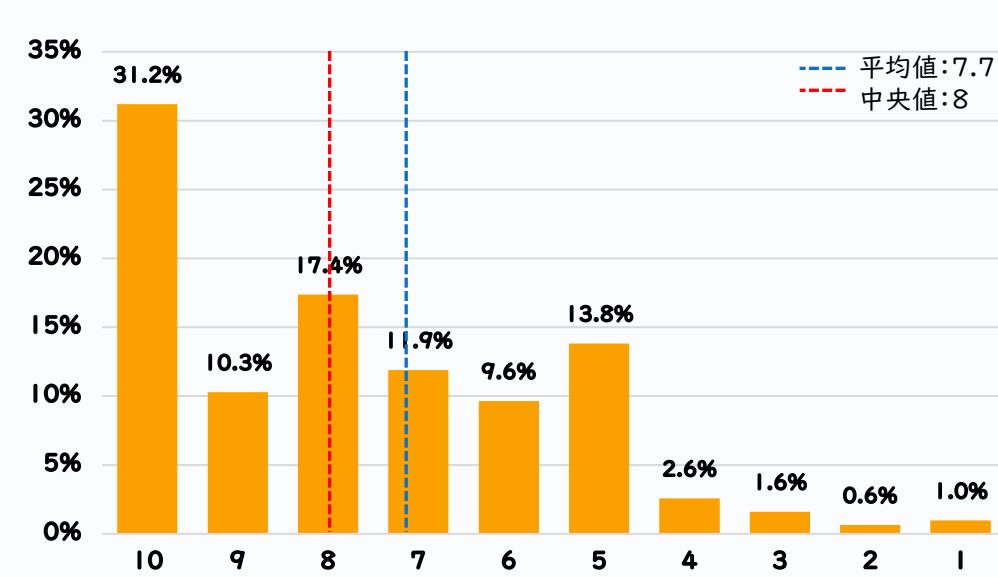
Q. 授業で利用する資料(図書など)を探す手間は省かれましたか?  
(10段階で評価)



**74.9%**の教職員が手間が軽減したことを実感  
※6以上に回答の教職員

### 課題② 学校図書館や学級文庫などの蔵書が少ない

Q. 学校図書館や学級文庫などの蔵書が少ないという困りごとは解消されましたか?  
(10段階で評価)



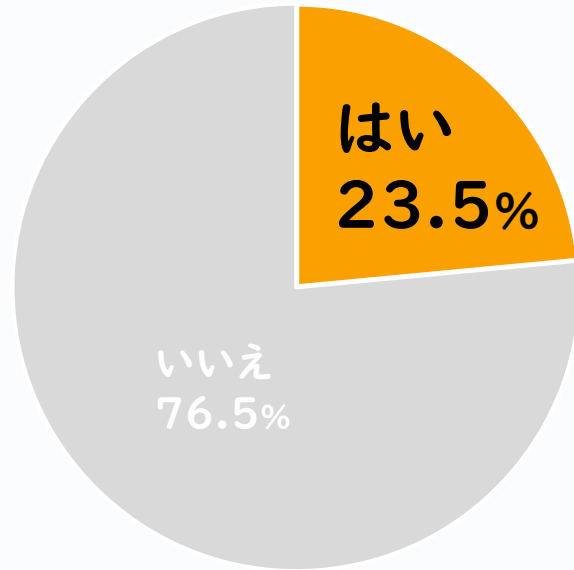
**80.4%**の教職員が蔵書不足を解消できたと実感  
※6以上に回答の教職員

定量的効果検証

Yomokka!を導入した結果、導入前にあげられていた4つの課題が解消されたかについてアンケート調査を実施した。(2025年11月実証導入校の教職員を対象に実施。有効回答数311件)

課題③ 授業準備で資料のコピーに時間がかかる

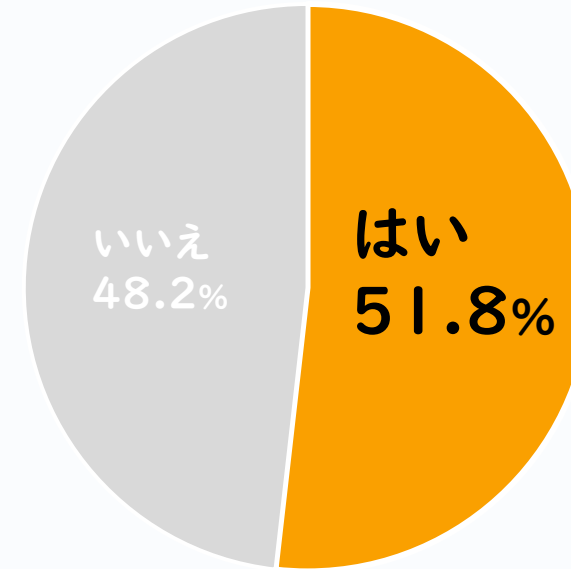
Q. 授業準備で資料のコピーなどの手間は削減されましたか?



**23.5%**の教職員が手間が削減したことを実感  
多忙な教職員の負担軽減に寄与

課題④ 1人1台端末を活用できていない

Q.Yomokka!を授業中に使用しましたか?



**51.8%**の教職員がYomokka!を授業で活用  
端末活用の促進に寄与

# 【児童・生徒の探究学習】【教職員の業務効率化・省力化】等サービス活用による成果

## 定性的効果検証

Yomokka!を導入した結果、導入前にあげられていた課題が解消されたかについてアンケート調査を実施した。(2025年11月、実証導入校の教職員を対象に実施。有効回答数311件)

### 課題① 授業で利用する資料を探すのに手間がかかる

Q. 授業で利用する資料を探す手間は省かれましたか？

A. 教職員からのコメント(一部抜粋)

- ・検索で簡単に書籍を選べて、資料を探す手間が省ける。
- ・社会科、総合的な学習の時間等で、資料を探すのに役立った。
- ・参考図書を探すときに、図書室から団体貸し出しの手間が省けたこと。
- ・検索をすればすぐに出てくるので、時間がない時や急遽使いたい時など、非常に便利だと感じる。

資料準備の時間削減に貢献できた一方で、教科によっては「該当書誌が少ない」といった今後の課題につながる回答も見られた

### 課題② 学校図書館や学級文庫などの蔵書が少ない

Q. 学校図書館や学級文庫などの蔵書が少ないという困りごとは解消されましたか？

A. 教職員からのコメント(一部抜粋)

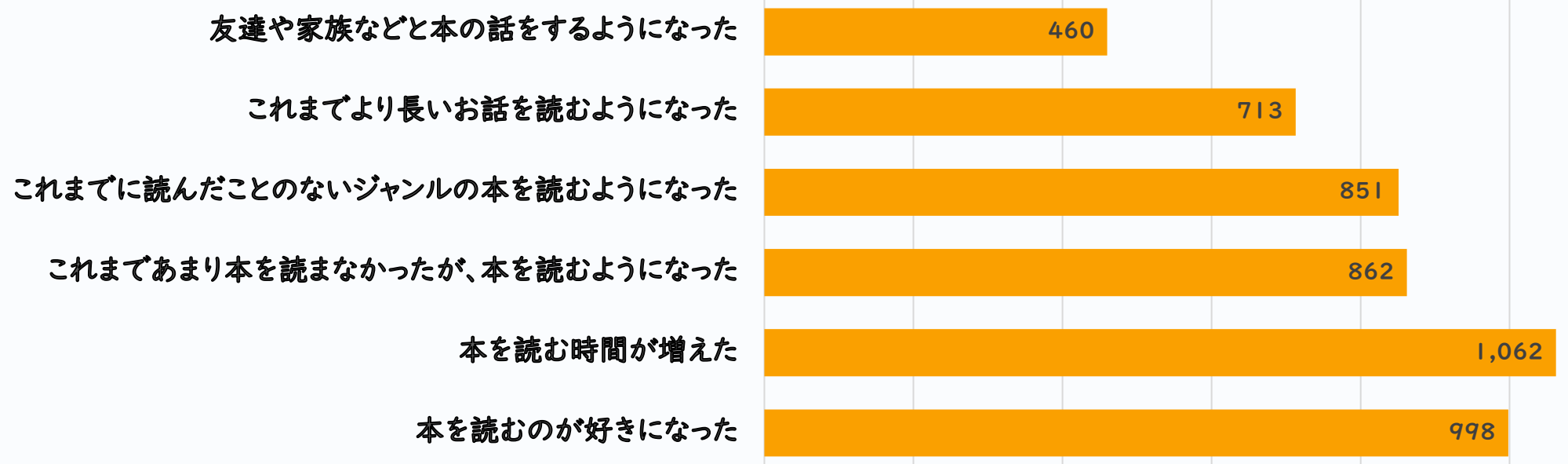
- ・子どもたちの興味がある本がたくさんあるため、読書時間に集中して読む姿が増えていた。
- ・掲載冊数が多く便利です。
- ・読書の手段として児童がYomokka!を使用している場面が増えた。
- ・これまで、数が足りないから並行読書の期間を延ばす、といったことをしていたが、それをしないで済んだ。
- ・調べ学習において、調べたくても本に限りがあるが、Yomokka!では全員同時に読むことができている。

学校における読書環境の充実の一助となった様子が見られた一方で、もっと多くの蔵書を期待していた、端末運用の観点で活用が難しかったなどの声も見られた

定性的効果検証

Yomokka!を導入したことによる、児童生徒自身の変化についてアンケート調査を実施した。  
(2025年11月、実証導入校の児童生徒を対象に実施。有効回答数2,131件)

Yomokka!を使い始めて変化したことはありますか？(複数回答可)



読書の時間が増えたと感じている児童生徒が多数いたほか、新たなジャンルの本を読んだり、より長編の本への挑戦をしたりなど、読書の広がりを感じられる回答も多数あった

## 教職員からのコメントの一例

### ■業務負担の軽減

- ・授業で利用するための本は、支援員さんに実物の本を資料として集めてもらっていますが、そのなかでも、子供たちが自主的にYomokka!で検索をかけ、調べるなどをしているときがあります。
- ・全員に読んでほしい本を、数十人分用意する必要がなく、楽だった。
- ・みんなで同じ本を使うことができたことがとてもよかったです。
- ・児童の手元に端末があるので、すぐに使わせることができ便利です。
- ・アイコンも大きく、整理されているので、感覚で操作できる。

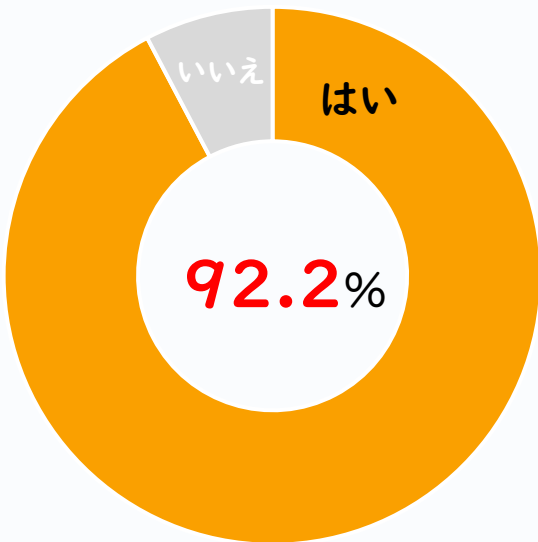
### ■教育活動の質の向上

- ・児童も新しい本を読む機会を得た。同じ本を同時に見ることができ、授業中の資料の幅が確実に増えた。
- ・図書館に行けなかった子がYomokka!を使ったり、図書館にない本をYomokka!で読んだりしていた。
- ・これまで紙の本は、あまりすすんで手に取らなかった児童も、Yomokka!での読書は楽しんでいる。
- ・探究の時間に子どもたちが活用している場面がたくさん見られた。
- ・調べ学習では、手軽さからインターネットに頼りがちな中、児童が率先して、Yomokka!から、資料を探して、関連図書を探している。
- ・学校図書館と並行して活用することで、多くの書籍にふれて、学習に生かすことができるから。Yomokka!のおかげで多岐にわたる書籍に触れることができる。WEB検索ではない、よさがある。

## 継続についてのアンケート

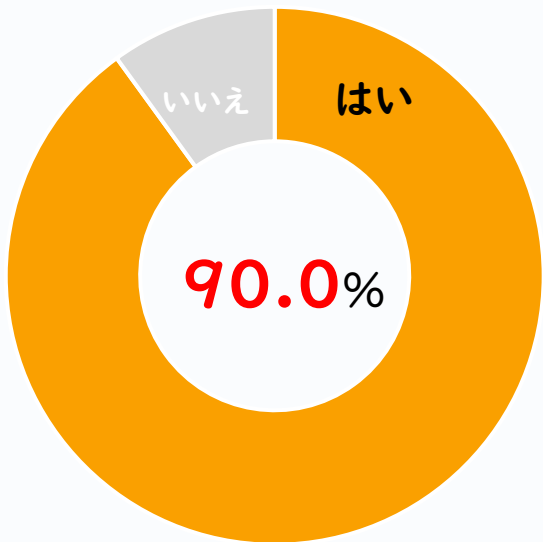
### 教職員

Q. 来年度以降もYomokka!を利用したいと思いますか？



### 児童生徒

Q. 来年度もYomokka!を使って本を読みたいですか？



**教職員・児童生徒ともに、90%以上が「継続を希望する」と回答**

実証導入を進める中で直面した3つの課題については、解決に向け改善策を検討・実施する。

直面した課題

■ コンテンツに関する課題

・現場で必要とされる書籍が網羅されていない

■ ユーザビリティに関する課題

・キーボード入力や端末に慣れていない低学年の児童にとっては、操作が難しい場合がある  
・感想コメント機能で不適切な投稿の事例があり、不安を感じる教職員がいた

■ 授業での利活用に関する課題

・学校の管理方針により端末の利用時間が限られている場合がある。また、教職員を対象にしたアンケートで、専科等で担任を持っていない・指導範囲ではないなどの理由で授業で利用していないという回答が約18%あり、教職員のコンテンツへの理解度に差があることで、実際の活用の場面での差が見られた。  
・教職員が多忙のため連絡が付きにくく、定性的視点による利用傾向の把握が困難な場合がある

解決するための改善策

■ コンテンツに関する課題

・参画出版社と交渉し、授業で利活用できるコンテンツの充実を図る

■ ユーザビリティに関する課題

・教職員が授業で扱う書籍を予め児童生徒に共有し、児童が迷うことなく利活用できる機能を実装する  
・メディアリテラシー教育の観点から、児童が望ましいコメントの書き方を自発的に考えられるよう促すコンテンツの作成を検討する

■ 授業での利活用に関する課題

・導入前後に研修会を計画的に実施し、導入期間中は利活用を支援するコンテンツを提供する  
・活用の進んでいない学校等教育機関には、学校等設置者と連携して、活用が進んでいる学校等教育機関の事例や活用ツールを案内するなどはたらきかけを行い、活用の差を極力減らすようにする。

## ■会社概要

社名	株式会社 ポプラ社
代表	加藤 裕樹
設立年月	1947年6月2日
本社	東京都品川区西五反田5番8号
資本金等	資本金3,050万円
売上高等	非公開
従業員数	224名
事業内容	児童書・一般書・学習資料や百科事典などの出版および教育ICT事業  ■ポプラ社ホームページ <a href="https://www.poplar.co.jp/">https://www.poplar.co.jp/</a>  ■こどもっとラボ <a href="https://kodomottolab.poplar.co.jp/">https://kodomottolab.poplar.co.jp/</a>  ■Yomokka!サービスサイト <a href="https://kodomottolab.poplar.co.jp/mottosokka/yomokka/">https://kodomottolab.poplar.co.jp/mottosokka/yomokka/</a>

### ■お問い合わせ窓口

担当:こどもの学び事業本部 MottoSokka!事業部

電話:03-5877-8114

Mail:info.mottosokka@poplar.co.jp



# ポプラ社



## こどもっとラボ

# Yomokka!